

2008年3月期 中間決算説明会

2007年11月7日

日機装株式会社

この配布資料に記載されている業績予想は、将来の実績等に関する見通しであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。そのため、実際の業績につきましては、今後の日本経済や当社関連業界の動向、新たな事業・製品・サービスや価格水準等さまざまな要因により、これら見通しと大きく異なる結果となることがあり得ます。従って、当社として、その確実性を保証するものではありませんので、ご承知おき下さい。

連結

■ 決算概要	3
■ カンパニー別売上高推移	4
■ セグメント業績推移	5
■ 営業外損益、特別損益	7
■ 貸借対照表	9
■ キャッシュフロー	11
■ 業績の見通し	12
■ カンパニー別売上・受注予想	13

単独

■ 決算概要	14
■ カンパニー別売上高推移	15
■ 業績の見通し	16
■ カンパニー別売上・受注予想	17

各種データ

18~23

- 業績推移
- 各種比率の推移
- 売上高構成(カンパニー別、製品別)
- 海外売上高推移
- 輸出国別売上
- 部門別売上高、受注高、受注残高

■ 決算概要(連結)

(単位:百万円)

	2005.09(参考)	2006.09	2007.09	前年同期比
受注高	28,844	33,248	37,045	3,797
売上高	28,019	30,272	34,223	3,951
売上総利益	8,788	9,267	11,071	1,804
販管費	6,542	7,085	8,133	1,048
営業利益	2,246	2,182	2,938	756
経常利益	2,696	2,650	3,028	378
中間純利益	1,447	1,605	2,135	530

■カンパニー別売上高推移(連結)

(単位:百万円)

	2005.09(参考)	2006.09	2007.09	前年同期比
流体技術	7,202	7,653	9,063	1,410
ISOL	3,432	4,293	5,229	936
複合材	1,721	2,025	2,821	796
医療機器	15,663	16,300	17,108	808

■ 事業別セグメント業績推移(連結)

(単位:百万円)

		2006.09	2007.09	増減額
工業部門	売上高	13,972	17,114	3,142
	(営業費用)	12,393	14,705	2,312
	(営業利益)	1,578	2,409	831
医療部門	売上高	16,300	17,108	808
	(営業費用)	14,525	15,268	743
	(営業利益)	1,775	1,840	65

■所在地別セグメント業績推移(連結)

(単位:百万円)

		2006.09	2007.09	増減額
日本	売上高	28,566	31,673	3,107
	(営業費用)	25,027	27,399	2,372
	(営業利益)	3,538	4,273	735
アジア	売上高	2,323	2,808	485
	(営業費用)	2,331	2,804	473
	(営業利益)	△7	4	11
北アメリカ	売上高	1,079	1,672	593
	(営業費用)	1,064	1,464	400
	(営業利益)	14	207	193
ヨーロッパ	売上高	2,197	3,231	1,034
	(営業費用)	2,231	3,250	1,019
	(営業利益)	△33	△19	14

■ 営業外損益(連結)

○ 主な営業外損益項目

(単位:百万円)

(収益)	2006.09	2007.09
受取配当金	76	135
持分法投資利益	190	83
受取地代家賃	77	72
為替差益	124	—
(費用)		
支払利息	96	210
社債発行費	—	64
為替差損	—	62

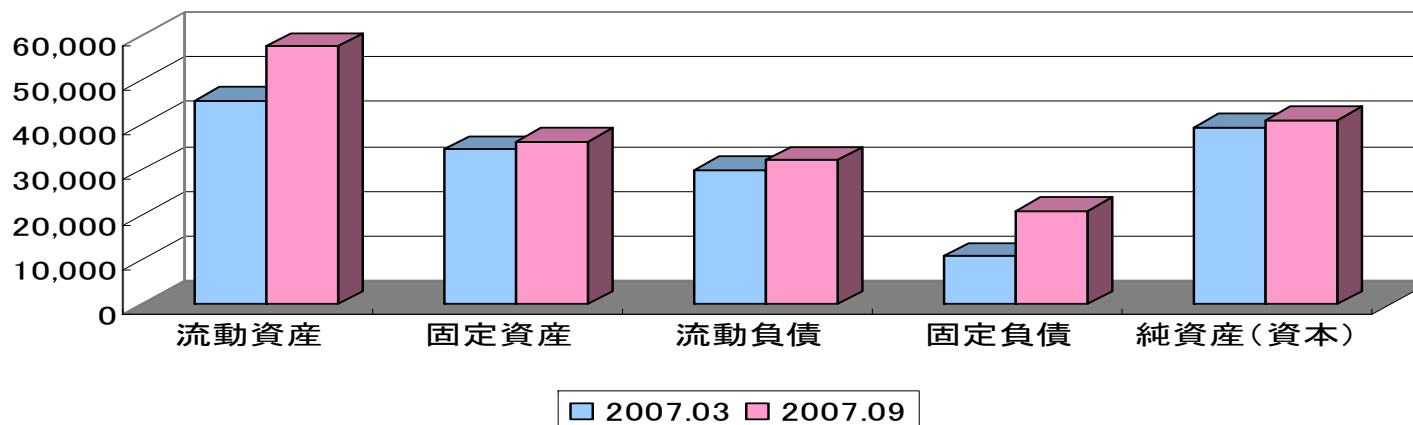
■ 特別損益(連結)

○ 主な特別損益項目

(単位:百万円)

(利益)	2006.09	2007.09
投資有価証券売却益	—	882
(損失)		
固定資産除却損	109	50

■ 貸借対照表推移(連結)



(単位:百万円)

	2007.03	2007.09	増減額
流動資産	45,547	57,637	12,090
固定資産	34,597	36,345	1,748
資産合計	80,144	93,983	13,839
流動負債	29,954	32,134	2,180
固定負債	10,760	20,827	10,067
負債合計	40,714	52,961	12,247
少数株主持分	553	615	62
純資産(資本)合計	39,430	41,021	1,591

■ 貸借対照表(連結) 主な増減



(単位:百万円)

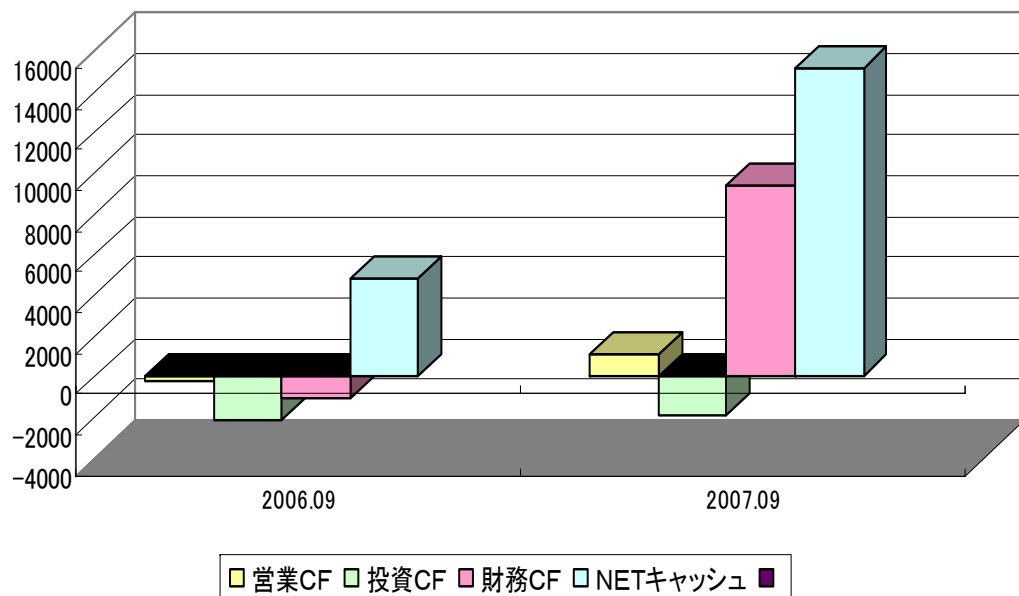
	2007. 03	2007.09	増減額	
○資産の部				
現金および預金	6, 413	15, 311	8, 898	※1
棚卸資産	11, 441	13, 429	1, 988	※2
○負債の部				
社債	—	6, 000	6, 000	※1
長期借入金	8, 272	12, 459	4, 187	※1
○純資産の部				
利益剰余金	26, 201	27, 948	1, 747	

(増減の主な内訳)

※1 調達の前倒し

※2 売上高、受注高増加に対応した増加

■ キャッシュフロー(連結)



(単位:百万円)

	2006.09	2007.09	増減額
営業CF	△181	1,192	1,373
投資CF	△2,068	△1,820	248
財務CF	△966	9,446	10,412
NET キャッシュ	4,863	15,172	10,309

主な増減内訳

営業CF

税金等調整前中間(当期)純利益	3,863
減価償却費	1,080
棚卸資産の増加額	△1,660
法人税等の支払額	△1,102

投資CF

有形固定資産 取得	△1,366
投資有価証券 取得	△1,181
投資有価証券 売却	1,039

財務CF

短期借入	11,342
短期借入金 返済	△11,997
長期借入	5,000
社債発行	6,000

■業績の見通し(2008年3月期)(連結)



(単位:百万円)

(連結)	2007.03 実績	2008.03 1/2 実績	2008.03 2/2 予想	2008.03 合計	増減額
売上高	65,399	34,223	37,777	72,000	6,601
営業利益	5,736	2,938	3,562	6,500	764
経常利益	6,410	3,028	3,872	6,900	490
当期純利益	4,015	2,135	2,165	4,300	285

■カンパニー別受注・売上予想(連結)

(単位:百万円)

		2007.03 実績	2008.03 1/2 実績	2008.03 予想
流体技術	受注	21,583	11,062	20,200
	売上	17,581	9,063	18,800
インダストリアル ソリューションズ	受注	10,041	5,745	10,000
	売上	9,362	5,229	9,400
複合材	受注	4,394	2,814	5,100
	売上	4,388	2,821	5,100
医療機器	受注	34,219	17,422	38,700
	売上	34,067	17,108	38,700
合 計	受注	70,239	37,045	74,000
	売上	65,399	34,223	72,000

■ 決算概要(単独)

(単位:百万円)

	2005.09(参考)	2006.09	2007.09	前年同期比
受注高	26,389	29,932	32,627	2,695
売上高	25,428	26,975	30,022	3,047
売上総利益	6,823	7,340	8,460	1,120
販管費	4,914	5,238	5,683	445
営業利益	1,908	2,102	2,777	675
経常利益	2,315	2,740	3,150	410
中間純利益	1,305	1,816	2,474	658

■カンパニー別売上高推移(単独)

(単位:百万円)

	2005.09(参考)	2006.09	2007.09	前年同期比
流体技術	5,949	6,202	7,136	934
ISOL	3,072	3,811	4,604	793
複合材	1,721	2,025	2,821	796
医療機器	14,684	14,936	15,460	524

■業績の見通し(2008年3月期) (単独)

(単位:百万円)

(単独)	2007.03 実績	2008.03 1/2 実績	2008.03 2/2 予想	2008.03 合計	増減額
売上高	57,708	30,022	30,978	61,000	3,292
営業利益	4,912	2,777	2,923	5,700	788
経常利益	5,530	3,150	2,850	6,000	470
当期純利益	3,421	2,474	1,526	4,000	579

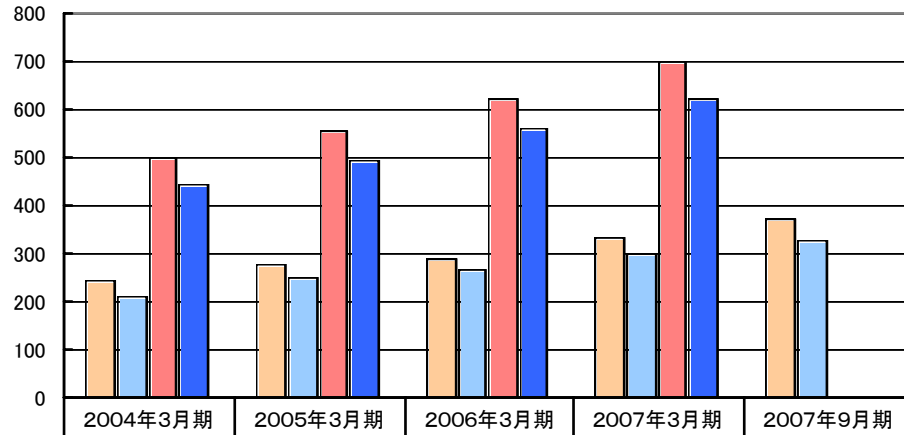
■カンパニー別受注・売上予想(単独)

(単位:百万円)

		2007.03 実績	2008.03 1/2 実績	2008.03 予想
流体技術	受注	18,031	9,189	16,100
	売上	14,305	7,136	14,600
インダストリアル ソリューションズ	受注	8,821	5,064	8,700
	売上	8,146	4,604	8,200
複合材	受注	4,394	2,814	5,100
	売上	4,388	2,821	5,100
医療機器	受注	30,916	15,559	33,100
	売上	30,867	15,460	33,100
合 計	受注	62,164	32,627	63,000
	売上	57,708	30,022	61,000

受注高

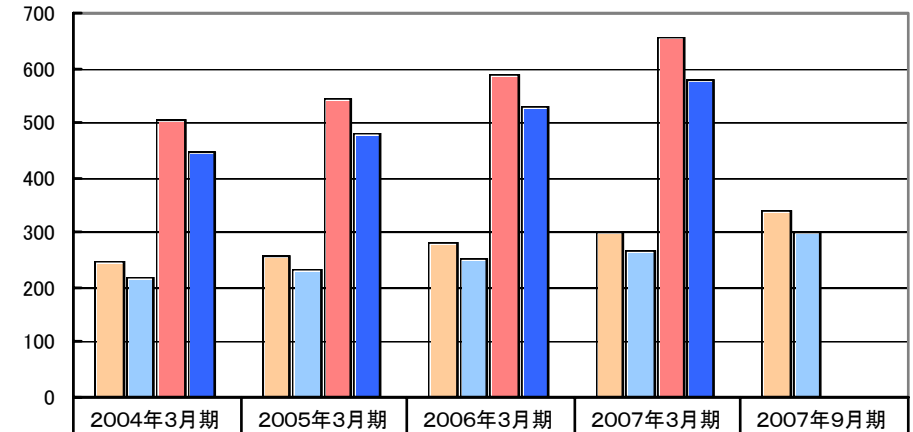
【単位：億円】



連結1/2	243.6	280.1	288.4	332.4	370.4
単独1/2	213.6	249.5	263.9	299.3	326.2
連結通期	502.1	555.2	622.6	702.3	
単独通期	443.9	494.9	559.2	621.6	

売上高

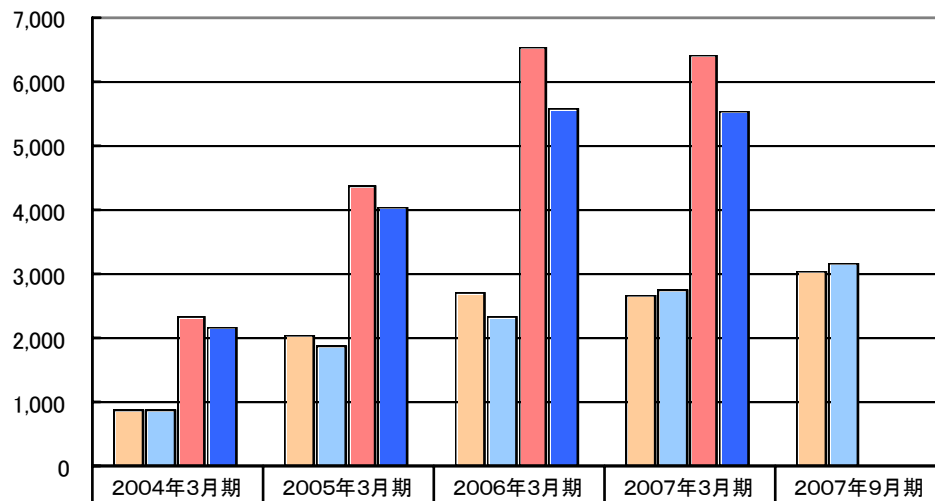
【単位：億円】



連結1/2	249.5	258.5	280.2	302.7	342.2
単独1/2	219.9	231.1	254.2	269.7	300.2
連結通期	505.7	543.1	589.1	653.9	
単独通期	448.3	482.4	527.7	577.0	

経常利益

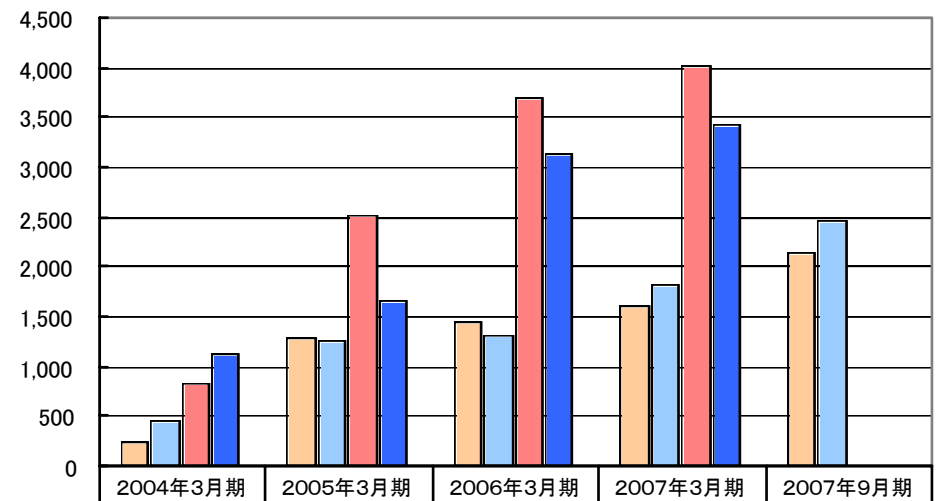
【単位：百万円】



連結1/2	895.2	2,052.5	2,696.0	2,650.7	3,028.0
単独1/2	874.6	1,892.0	2,315.9	2,740.8	3,150.0
連結通期	2,333.0	4,387.5	6,553.8	6,410.0	
単独通期	2,149.0	4,060.0	5,586.4	5,530.0	

当期純利益

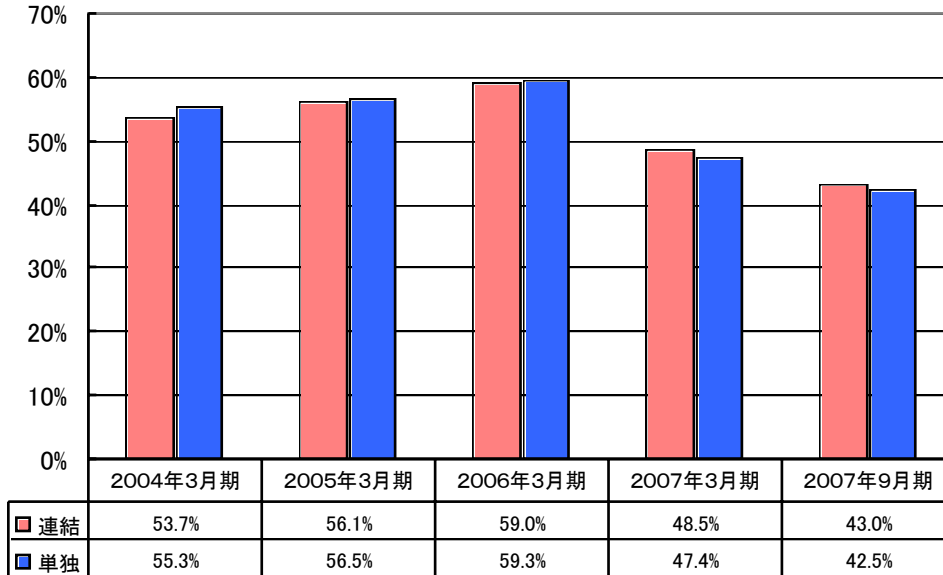
【単位：百万円】



連結1/2	243.5	1,290.1	1,447.0	1,605.0	2,135.0
単独1/2	450.5	1,260.1	1,305.0	1,816.8	2,474.0
連結通期	827.1	2,518.4	3,709.2	4,015.0	
単独通期	1,113.2	1,651.6	3,146.9	3,421.0	

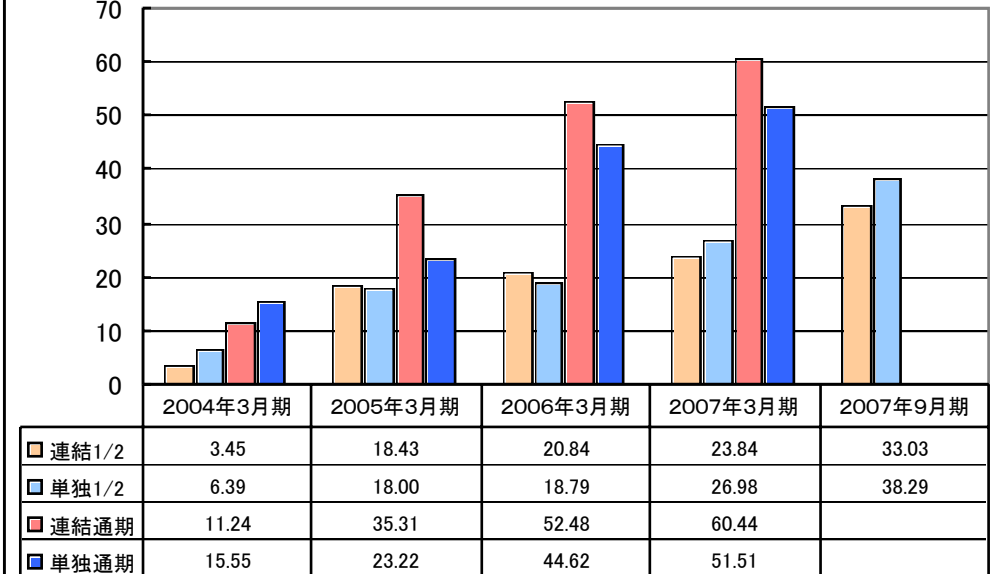
自己資本比率推移

【単位 %】



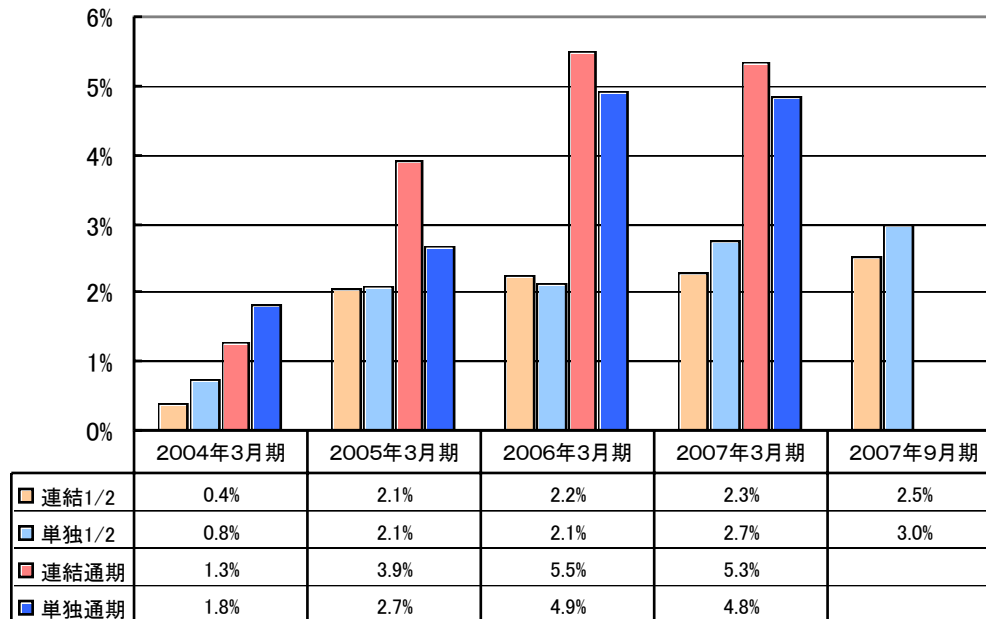
一株当たり当期純利益推移

【単位 円銭】



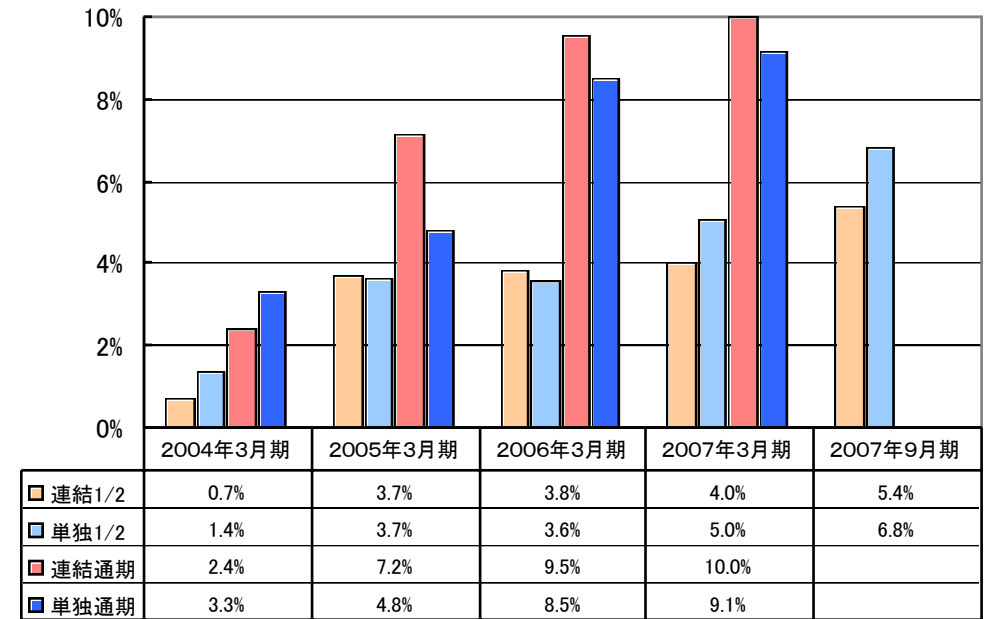
ROA比率推移

【単位 %】

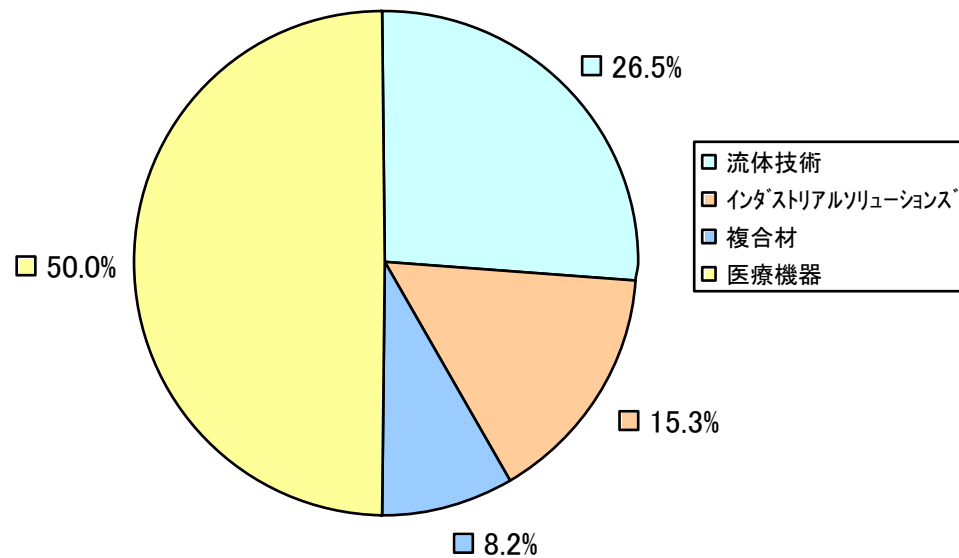


ROE比率推移

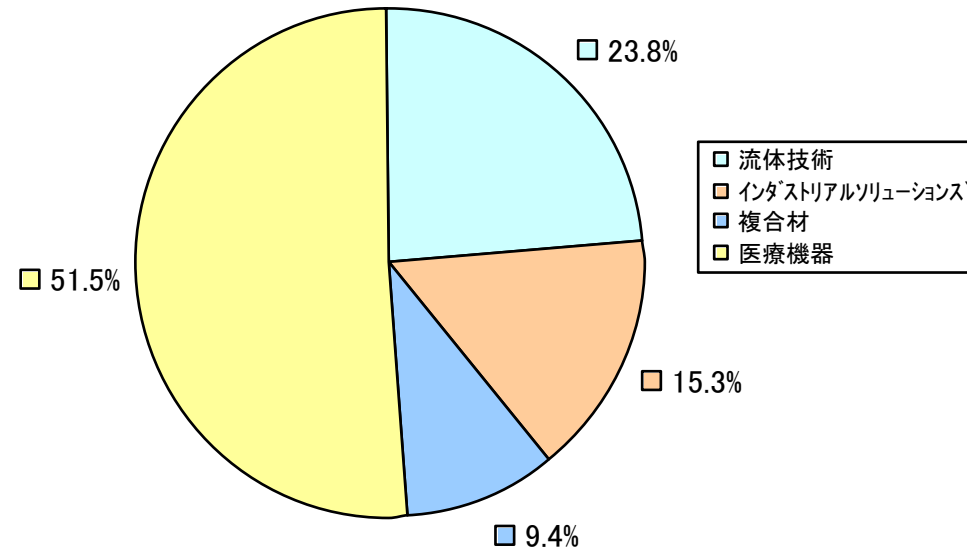
【単位 %】



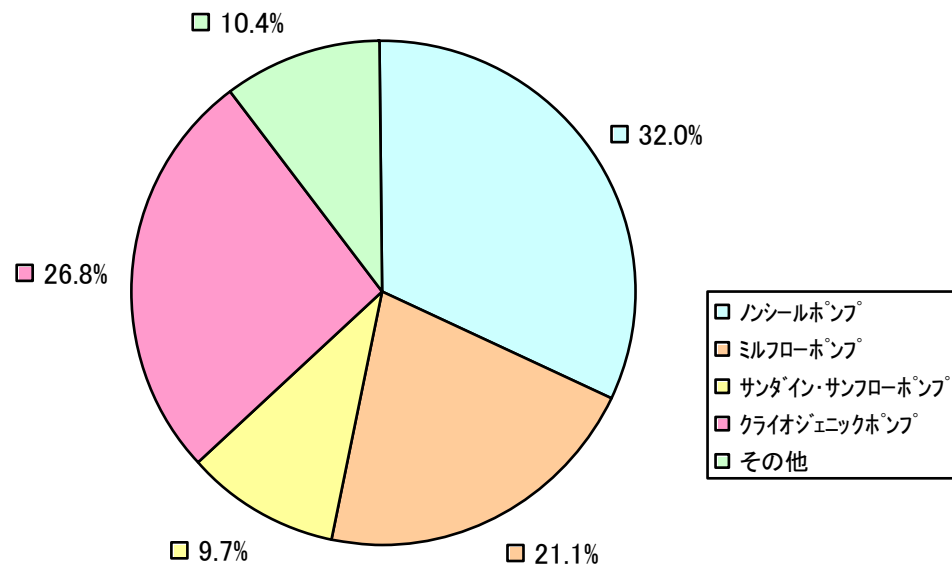
売上高構成(連結)



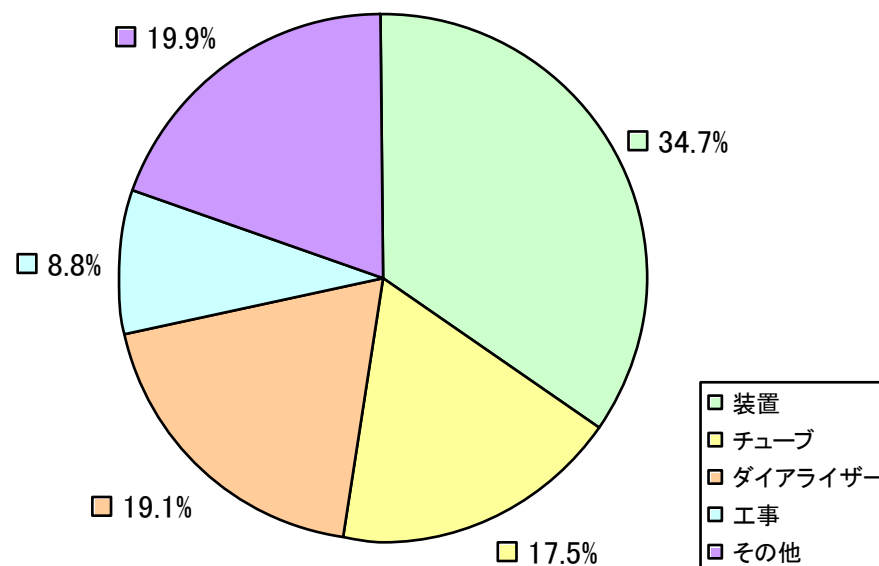
売上高構成(単独)



流体技術カンパニー 売上高構成(単独)

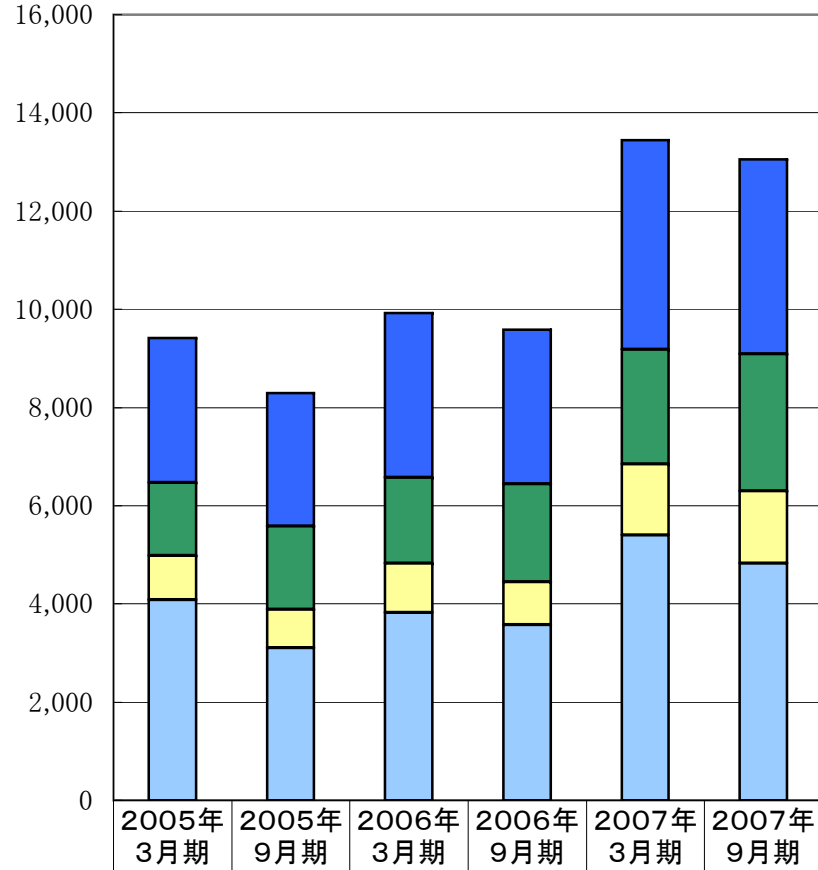


医療機器カンパニー 売上高構成(単独)



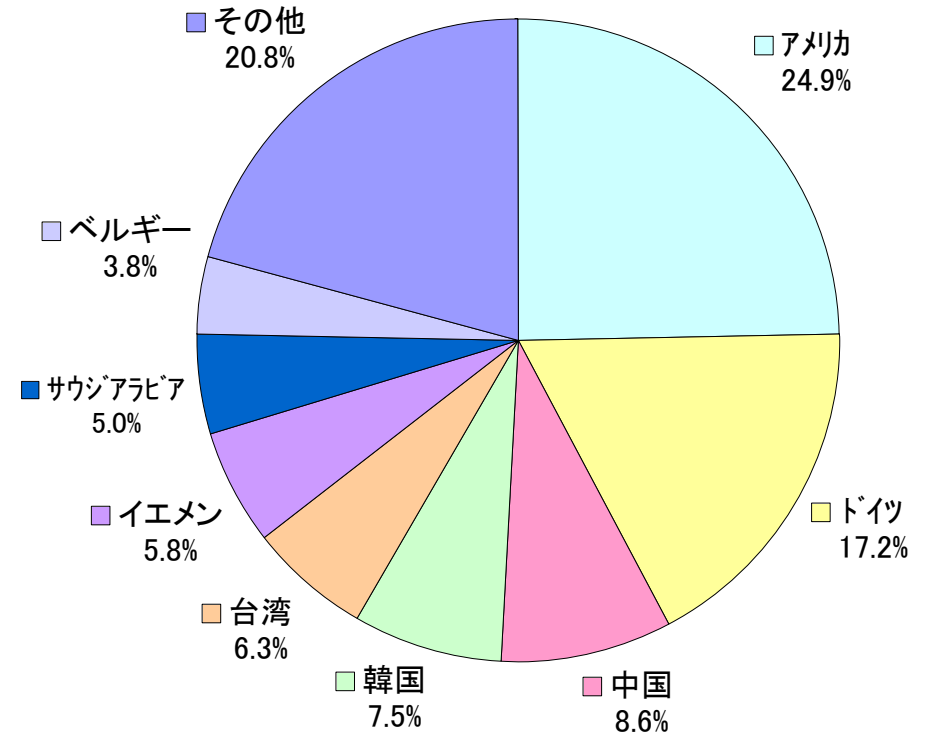
【単位:百万円】

海外売上高推移(連結)



医療機器	2,952	2,708	3,354	3,143	4,258	3,971
複合材	1,493	1,695	1,740	1,995	2,329	2,787
ISOL	889	782	1,010	882	1,447	1,478
流体技術	4,086	3,106	3,820	3,569	5,404	4,823

輸出売上高「国別」構成(単独)



連結 部門別売上高・受注高および受注残高

(単位：百万円)

分社区分	項目	前中間連結会計期間 (自 平成18年 4月 1日 至 平成18年 9月30日)		当中間連結会計期間 (自 平成19年 4月 1日 至 平成19年 9月30日)		増減金額 (百万円)	増減率(%)	
		金額	構成比(%)	金額	構成比(%)			
工業部門	流体技術 加パニー	売上高	7,653 (3,569)	25.3 (37.2)	9,063 (4,823)	26.5 (36.9)	1,410 (1,253)	18.4 (35.1)
		受注高	10,124 (5,464)	30.5 (47.0)	11,062 (6,612)	29.9 (43.8)	938 (1,148)	9.3 (21.0)
		受注残高	10,634 (7,892)	73.0 (91.0)	14,165 (11,548)	73.6 (91.9)	3,530 (3,655)	33.2 (46.3)
	インダストリアル ソリューションズ 加パニー	売上高	4,293 (882)	14.2 (9.2)	5,229 (1,478)	15.3 (11.3)	936 (595)	21.8 (67.5)
		受注高	4,821 (993)	14.5 (8.5)	5,745 (1,497)	15.5 (9.9)	924 (504)	19.2 (50.8)
		受注残高	3,542 (585)	24.3 (6.7)	4,207 (556)	21.8 (4.4)	665 (29)	18.8 (5.0)
	複合材 加パニー	売上高	2,025 (1,995)	6.7 (20.8)	2,821 (2,787)	8.2 (21.4)	795 (791)	39.3 (39.7)
		受注高	2,030 (1,995)	6.1 (17.2)	2,814 (2,787)	7.6 (18.5)	783 (791)	38.6 (39.7)
		受注残高	24 (-)	0.2 (-)	19 (-)	0.1 (-)	5 (--)	23.2 (--)
	小 計	売上高	13,972 (6,447)	46.2 (67.2)	17,114 (9,089)	50.0 (69.6)	3,142 (2,641)	22.5 (41.0)
		受注高	16,977 (8,452)	51.1 (72.7)	19,623 (10,897)	53.0 (72.2)	2,646 (2,444)	15.6 (28.9)
		受注残高	14,201 (8,477)	97.5 (97.7)	18,392 (12,104)	95.5 (96.3)	4,190 (3,626)	29.5 (42.8)
医療部門	医療機器 加パニー	売上高	16,300 (3,143)	53.8 (32.8)	17,108 (3,971)	50.0 (30.4)	807 (828)	5.0 (26.3)
		受注高	16,271 (3,170)	48.9 (27.3)	17,422 (4,185)	47.0 (27.8)	1,150 (1,014)	7.1 (32.0)
		受注残高	370 (195)	2.5 (2.3)	864 (461)	4.5 (3.7)	494 (265)	133.6 (135.8)
	小 計	売上高	16,300 (3,143)	53.8 (32.8)	17,108 (3,971)	50.0 (30.4)	807 (828)	5.0 (26.3)
		受注高	16,271 (3,170)	48.9 (27.3)	17,422 (4,185)	47.0 (27.8)	1,150 (1,014)	7.1 (32.0)
		受注残高	370 (195)	2.5 (2.3)	864 (461)	4.5 (3.7)	494 (265)	133.6 (135.8)
合 計	売上高	30,272 (9,591)	100.0 (100.0)	34,223 (13,060)	100.0 (100.0)	3,950 (3,469)	13.0 (36.2)	
	受注高	33,248 (11,623)	100.0 (100.0)	37,045 (15,083)	100.0 (100.0)	3,796 (3,459)	11.4 (29.8)	
	受注残高	14,571 (8,673)	100.0 (100.0)	19,257 (12,565)	100.0 (100.0)	4,685 (3,891)	32.2 (44.9)	

(注) 下段の括弧内(内書)は、海外売上高・受注高および受注残高であります。

個別 部門別売上高・受注高および受注残高

(単位 百万円)

分区分	項目	前中間会計期間 (自 平成18年 4月 1日 至 平成18年 9月30日)		当中間会計期間 (自 平成19年 4月 1日 至 平成19年 9月30日)		増減金額 (百万円)	増減率(%)	
		金額	構成比(%)	金額	構成比(%)			
工業部門	流体技術 加パニ	売上高	6,202	23.0	7,136	23.8	934	15.1
			(2,937)	(37.6)	(3,775)	(36.1)	(838)	(28.5)
		受注高	8,732	29.2	9,189	28.2	456	5.2
		(4,908)	(49.9)	(5,659)	(46.0)	(750)	(15.3)	
	受注残高	10,358	73.2	13,606	74.6	3,248	31.4	
		(7,648)	(93.4)	(11,061)	(95.9)	(3,412)	(44.6)	
	インダストリアル ソリューションズ 加パニ	売上高	3,811	14.1	4,604	15.3	792	20.8
			(425)	(5.4)	(865)	(8.3)	(440)	(103.4)
		受注高	4,314	14.4	5,064	15.5	750	17.4
		(509)	(5.2)	(829)	(6.7)	(319)	(62.6)	
	受注残高	3,534	25.0	4,166	22.8	632	17.9	
		(541)	(6.6)	(478)	(4.1)	(62)	(11.5)	
複合材 加パニ	売上高	2,025	7.5	2,821	9.4	795	39.3	
		(1,995)	(25.5)	(2,787)	(26.6)	(791)	(39.7)	
	受注高	2,030	6.8	2,814	8.6	783	38.6	
	(1,995)	(20.3)	(2,787)	(22.6)	(791)	(39.7)		
受注残高	24	0.2	19	0.1	5	23.2		
	(--)	(--)	(--)	(--)	(--)	(--)		
小 計	売上高	12,039	44.6	14,562	48.5	2,523	21.0	
		(5,358)	(68.6)	(7,428)	(71.0)	(2,069)	(38.6)	
	受注高	15,077	50.4	17,068	52.2	1,990	13.2	
	(7,414)	(75.3)	(9,276)	(75.3)	(1,861)	(25.1)		
受注残高	13,918	98.4	17,792	97.5	3,874	27.8		
	(8,189)	(100.0)	(11,539)	(99.9)	(3,350)	(40.9)		
医療部門	医療機器 加パニ	売上高	14,936	55.4	15,460	51.5	523	3.5
			(2,453)	(31.4)	(3,037)	(29.0)	(584)	(23.8)
		受注高	14,855	49.6	15,559	47.8	704	4.7
		(2,428)	(24.7)	(3,037)	(24.7)	(608)	(25.1)	
	受注残高	228	1.6	457	2.5	229	100.5	
		(--)	(--)	(--)	(0.1)	(--)	(--)	
小 計	売上高	14,936	55.4	15,460	51.5	523	3.5	
		(2,453)	(31.4)	(3,037)	(29.0)	(584)	(23.8)	
	受注高	14,855	49.6	15,559	47.8	704	4.7	
	(2,428)	(24.7)	(3,037)	(24.7)	(608)	(25.1)		
受注残高	228	1.6	457	2.5	229	100.5		
	(--)	(--)	(--)	(0.1)	(--)	(--)		
合 計	売上高	26,975	100.0	30,022	100.0	3,047	11.3	
		(7,811)	(100.0)	(10,465)	(100.0)	(2,654)	(34.0)	
	受注高	29,932	100.0	32,627	100.0	2,695	9.0	
	(9,842)	(100.0)	(12,313)	(100.0)	(2,470)	(25.1)		
受注残高	14,146	100.0	18,250	100.0	4,103	29.0		
	(8,189)	(100.0)	(11,539)	(100.0)	(3,350)	(40.9)		

(注) 下段の括弧内(内書)は、輸出額であります。



日機装株式会社

〒150-8677 東京都渋谷区恵比寿3-43-2
<http://www.nikkiso.co.jp>

2008年3月期 中間決算
決算説明会資料

トピックス

－目次－

- | | | |
|------|---------------------------|---------------------------------|
| P 2. | 流体技術カンパニー | : クライオジェニックポンプ 米国生産体制構築 |
| | | : API 規格適合ノンシールポンプを出荷 |
| P 3. | インダストリアル
ソリューションズカンパニー | : 排水処理ビジネス向け初号機を出荷 |
| | 複合材カンパニー | : 複合材製品工場の建屋拡張工事完了 |
| P 4. | 医療機器カンパニー | : 新製品 人工腎臓装置 DBB-81、DCG-03 販売開始 |
| P 5. | 医療機器カンパニー | : 人工腎臓装置 欧州新工場立ち上げ |

クライオジェニックポンプ 米国生産体制構築

石油から天然ガスへのエネルギー転換の流れが本格化し、クライオジェニックポンプの需要は増加を続けています。LNG（液化天然ガス）プラント規模の拡大によるポンプの大型化・高圧化も進み、当社でも生産能力増強の必要に迫られてきました。

このため、クライオジェニックポンプの米国拠点Nikkiso Cryo, Inc.ではテスト設備の増強



中東向けクライオジェニックポンプ



Nikkiso Cryo, Inc.

だけでなく、東村山製作所の生産能力補完のための組み立て生産設備の導入を進め、2007年9月には米国産ポンプ13台を中東向けに初出荷いたしました。クライオジェニックポンプの生産は大型機を中心に徐々に米国に移管することにより、生産能力の拡大とあわせてLNG実液試験のための輸送コストと時間の削減をはかっています。今後は設計から部品調達、組み立て、テストから出荷までの一貫した米国生産体制を構築し、東村山製作所との2拠点体制で受注拡大をはかり、増加するマーケット需要に応えてまいります。

API 規格適合ノンシールポンプを出荷

2007年2月、API（米国石油協会）規格に完全適合したノンシールポンプ（無漏洩ポンプ）を、マレーシアにあるオイルメジャーの製油所向けに出荷したほか、現在出荷間近である製作中の同ポンプも含め、多数の引き合いを受けています。

近年、世界的に環境保全の機運が高まる中で、危険な液体を無漏洩で移送できるノンシールポンプの需要が、石油化学、化学プラントから石油精製などのプロセスに広がりつつあります。しかし石油精製に使用されるポンプには、高温・高圧といった過酷な使用条件に耐えうる堅牢さと製品の信頼性が求められるため、API規格適合ポンプの需要が急速に拡大しつつあります。今後は、API規格ノンシールポンプのラインアップの開発を急ぐとともに、さらなる販売の拡大をはかります。



API 規格
ノンシールポンプ

排水処理ビジネス向け初号機を出荷

日本ウォーターシステム株式会社との提携のもと、新ビジネスとして受注活動を開始していた“工場排水処理プラント”の初号機を、2007年9月、化学薬品メーカーへ出荷しました。

このメーカーは、従来から硝安スラリーをわざわざ購入して、製品原料としていました。今回のケースでは、業容の異なる企業から硝安（硝酸アンモニウム）を含んだ排水を安価に購入し、本プラントにより分離・再生・濃縮して硝安スラリーを取り出すことを可能にしました。排水を利用するため、コストダウンがはかれ、また同時に、資源のリサイクルも実現することができます。

当社の提案する排水処理プラントは、他にもユーザーのさまざまなニーズに応じて独自のシステムを提供することができ、今後、独自のビジネスモデルとして、いろいろな分野へ積極的に提案営業を行なってまいります。

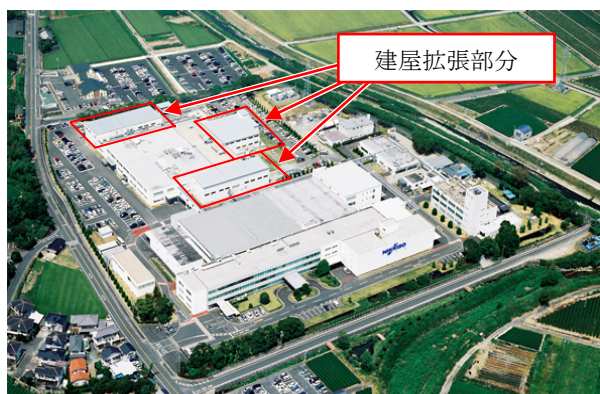
また、大学と共同研究を進めてきたバイオ技術を使用した工場排水中の有機溶媒処理技術についても、実用化が目前であり、同事業の今後の展開に大きく貢献する技術として期待が高まっています。



排水処理プラント

複合材製品工場の建屋拡張工事完了

2007年7月、民間航空機用エンジンの逆噴射装置部品「カスケード」の生産拠点、複合材製品工場（静岡製作所内）の建屋拡張工事が完了しました。本年末には大型生産設備の導入を終え、2008年初頭の全生産設備本格稼動に備える予定です。



建屋を拡張した静岡製作所(2007年8月撮影)

今回の建屋拡張工事の完成により、床面積は従来に比べ1.6倍となりました。生産能力では1.8倍の増強となり、年々増大の一途をたどる、当社のCFRP製カスケードの受注に対応できる生産体制が整いました。

今後は、生産体制強化のメリットを100%発揮し、新規に開発される新型民間航空機用カスケードの受注を確実にするとともに、カスケード以外の航空機用部品事業参入を積極的に進めてまいります。

新製品 人工腎臓装置 DBB-81、DCG-03 販売開始

2007年10月、新型個人用透析装置「DBB-81」および新型多用途透析用監視装置「DCG-03」の販売を開始しました。

「DBB-81」は機器に不慣れな操作者であっても、安心して確実に操作ができることを設計コンセプトに新規開発を行なったものです。また「DCG-03」は患者様の幅広い要望にお応えするため、一般的な血液透析以外の療法にも対応するオールラウンドな装置です。今回のモデルチェンジでは従来機に比べ、透析治療に従事するスタッフの日々の作業性を快適にする工夫を随所に取り入れました。両製品の主な特長は次のとおりです。

【DBB-81の特長】

1. 病棟やICU、リカバリールーム(回復室)など、個室環境でも使用しやすいよう考慮した設計です。
2. 透析の準備から片付けまで、すべての過程をメッセージやイラスト、音声などでサポートしています。
3. 可動型のタッチパネル付カラーモニターで、視認性と操作性を向上させました。

【DCG-03の特長】

1. 血液中の中分子領域物質を、効率良くろ過する透析療法が行なえます。
2. 患者様の広い視界を確保し、圧迫感を排除する装置デザインを採用しました。
3. 透析に使用する消耗品の取り付け位置を変更し、1回の療法ごとの消耗品交換作業をより容易に行なえるようにしました。
4. 装置カバーの開閉機構を変更し、メンテナンス性を向上させました。

当社は透析を必要とするすべての方へさらに快適な治療環境を提案すべく、今後も開発、生産、営業活動を続けてまいります。



新製品 人工腎臓装置
DBB-81(左) および DCG-03(右)

人工腎臓装置 欧州新工場立ち上げ

ドイツ・ハノーバー市の現地法人MeSys GmbH Medizinische Systeme（「MeSys社」）は、欧州向け透析装置DBB-05の現地生産のため新工場用地・建屋を取得、2008年3月の組み立て生産開始を目指して準備に入りました。新工場は床面積5,000㎡、ノックダウン生産から始めて徐々に静岡工場から欧州向け装置の生産を移管し、将来的には海外向け透析装置の開発・生産拠点として静岡工場とならぶ生産能力を持つことを目指しています。

国内透析市場の成長鈍化が予想される一方で海外市場は大きな成長が見込まれ、ハノーバーのMeSys社新工場は、従来の血液浄化用装置の生産に加えて海外向け透析装置の主力供給基地としての役割を担うことになります。



MeSys GmbH Medizinische Systeme
人工腎臓装置 生産新工場



日機装株式会社

〒150-8677 東京都渋谷区恵比寿3-43-2
<http://www.nikkiso.co.jp>